

第五回

日本漆喰協会作品賞

the 5th competition of japan shikkui association



第五回

日本漆喰協会作品賞

the 5th competition of japan shikkui association

伝統の良さを今に伝えて

日本漆喰協会は、日本の伝統的な左官工法による安全で健康的な建築文化を後世に継承して行くために、国内の主だった漆喰メーカーが結集して設立されたものです。



作品賞の目的

過去5年以内の国内の漆喰やドロマイトプラスターを使用して創作された作品の中から日本の伝統的な不燃建築仕上げである漆喰の普及、技術の向上を図り、安全で環境と人に優しい漆喰工法による健康文化を後世に継承していくための一助となること、併せて漆喰関連業界の発展に寄与することを目的とし、社会的、文化的見地から特に優秀と認められる漆喰を使用した作品の表彰を行う。

ごあいさつ

施主の思い出から傑作が生まれる

今回で5回目となる作品賞ですが、応募の数だけではなく、非会員からの応募が増えていることに、この賞の浸透を実感しています。

また、作品の質も年々レベルアップし、選考委員の苦労もそれに伴って増えています。

審査委員会は外部見識者の層を厚くして、委員会を重ねながら、より客観性の高い審査に努め、理事委員は各地の現地審査に走って、書類や写真ではわからない仕上がりの確認まで行っています。

それだけシビアな審査をしても、なお優劣付けがたい魅力的な作品が多数あることに圧倒され、ここまでの出来栄えは漆喰協会が基本に置いている「設計・施工・左官」の三位一体だけではなく、施主の熱い思いも入った四位一体でなければ達成できないのでは、というのが現地審査からの感想でした。

設計者は施主に代わって施主の思いを実現するべく指揮を執りますが、施主の漆喰への思い出の強さがそのまま作品のレベルの高さとなって現れているのでしょう。

前回から受賞作品集を刷新し、出来るだけ多くの方に優れた漆喰建築を見ていただく事を目標にしていますが、それにふさわしい作品が今回も多数集まったことに、時代の手ごたえを感じています。

日本漆喰協会
会長 行平信義

■審査委員

審査委員長	難波蓮太郎	
審査副委員長	古賀一八	
	上村克郎	吉澤慎太郎
	武藤進	奥山浩司
	齊藤祐子	田中克也
	小林澄夫	鳥越宏造
	多田君枝	安西徹
	後藤治	(順不同)

※第6回作品募集
平成23年3月1日～4月30日

審査総評

本年度の審査結果とその経緯について報告いたします。作品の募集は本年3月1日から4月30日まで行いました。

今回の応募作品も全体にレベルは向上し、優劣の格差が少なく、選考には苦心いたしました。各委員の持ち票で、推薦する作品の単純集計結果を基盤とし、6月2日の一次審査委員会では応募作品の写真および主旨説明等につき、精査・討議を経て、先ず一次入選候補を選びました。続いて、全ての応募作品を現地に赴き、実状を確認し、7月14日に最終審査委員会を開き、慎重に入賞作品を選定いたしました。

本年度の授賞は、ジャンル別で多い順に、戸建住宅の新築10点、同改修3点、事業施設2点、集合住宅新築1住戸1点、公共施設1点、伝統修復1点、宗教施設1点の計19作品であります。ここで、住宅作品の応募は昨年が続いて多く、近年、建築主や所有者の漆喰への関心がさらに高まってきたことを痛感いたしました。

受賞に至らなかった作品の中にも素晴らしい創作があり、審査の持ち時間が常に予定より長引く状況であったことを付記します。

なお、応募件数は過去最多となりましたが、地域別では13都府県に留まり、応募数を含めて未だ満足できる状況ではありません。全国的に展開することが今後の課題です。これからのさらなる漆喰普及・啓発活動を、そして作品賞を世に広く権威付ける努力が我々にも求められます。

この冊子はその目的達成に大きく貢献することを期待します。

審査委員長
難波蓮太郎

Win a Prize
受賞作品



所在地	長野県長野市松代町松代 1
竣工	2009 年 12 月 25 日
設計者	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会
施工者	北信土建株式会社
	代表取締役社長 野澤敏
左 官	清水左官・伊藤左官・宮下左官工業

選 考 評

当時の復元をめざし現地での漆喰調合が行われたほか、小舞から土壁、漆喰仕上げまで伝統工法にのっとりた施工が行われている。文化財の修復であっても、ここまで本格的な施工の行われることが少なくなった昨今、左官の文化においても貴重な史跡になると考えられる。長く連続した土塀は技術的にも至難である。大規模の修復にたずさわった左官の努力と技巧の高さをうかがい知ることが出来る。

受賞者のコメント／左官

この工事は、史跡指定地内の建物を修理復元する事を旨とし、伝統的工法を踏襲して工事を行いました。左官工事にあつては、のりの煮沸から漆喰の調合まで現場で行い、施工は木舞搔-荒壁塗-斑直し-中塗-砂漆喰下塗-漆喰上塗の工程で仕上げました。



所在地	栃木県栃木市室町4-12
竣工	2009年8月1日
設計者	大兵建築設計事務所 山本兵一
施工者	有限会社大兵工務店
	代表取締役 山本兵一
	左官 新井貞夫
左官	有限会社栃木左官店 栃木正和

選考評

地元産の木材と漆喰を使い、しっかりと建てられた家は、長年伝統建築にたずさわってきた工務店の自宅ならではの。大きな丸太梁などの木材と漆喰で構成された内装も美しいが、蔵をイメージした外観は、柔らかな起屋根（むくりやね）の燻し瓦と白い漆喰だけでなく、2階には虫籠窓風の出窓が設けられるなど、伝統的なデザインが取り入れられ、地域の景観を創り出す大変魅力的なものになっている。

受賞者のコメント／設計者

栃木市は明治の時代から蔵が造られてきました。今ではマスコミに取り上げられ観光の重要な役割を担っています。多くの職人が近くから取れる麻・石灰等、漆喰塗りで蔵を仕上げてきました。この住まいは、環境に溶け込んだ漆喰塗壁のデザインにしました。自然素材にこだわり木材と大工、漆喰土壁と左官、手漉和紙と経師等、伝統をつないできた職方を組み合わせ、おたがいの良さを出すようにしました。壁は部屋毎に漆喰の塗り方を変えいろいろな表情を出しました。（山本兵一）



所在地	千葉県千葉市美浜区
竣工	2006年9月24日
設計者	株式会社松井郁夫建築設計事務所 松井郁夫
施工者	株式会社持井工務店 持井貞城
左官	金子忠雄

受賞者のコメント／設計者

「検見川の家」は国産材無垢の木と漆喰で造られた木組の家です。二階が一階よりもせり出した「せがいで造り」は伝統的な木組の醍醐味と言えます。また室内を構成する7メートルの松梁が特徴です。外壁は色粉と藁を入れたモルタルを木鏝で仕上げ、内部の漆喰は、和室の聚楽塗り以外、すべての部屋に塗られています。左官の技術をふんだんに使った木組の家は、美しい日本の風景をつくります。(松井郁夫)

選考評

伝統構法と古材の美しさによって漆喰がさらに美しく感じられる。古材と新材が組み合わせられた空間は、新しい筈の漆喰も柔らかく温かみのあるものへと変化して見える。また伝統構法による小屋組は、木と漆喰が互いに惹き立て合い、新たな空間を感じさせる。それらが熟練した左官技術によって支えられ、日本の建築美が見事に表現されている作品である。



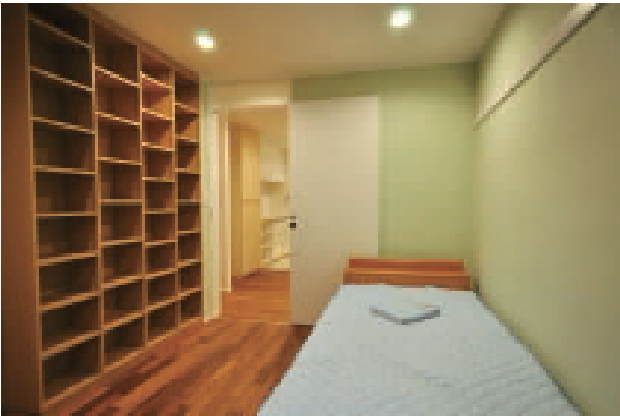
所在地	三重県松阪市鎌田町 731 - 16
竣工	2009 年 12 月 10 日
設計者	S S D 建築士事務所 瀬古智史
左 官	河合左官 河合英喜

受賞者のコメント／左 官

今回の作品は自然素材の家づくりを求める設計者、施主様の気持ちを考え、しっくい塗で行こうと決めました。コスト抑え表面強度を求められる、パバリ目に塗りたい気持ちが強かったので、のり、砂の量をくり返し試験塗後、あきのこない、気取らない表情になりました。このようないわば塗りっぱなしの壁が認められたことについてもうれしく思います。手間をかけて塗った壁がかならずよいとは思いません。私はそう考えます。(河合英喜)

選 考 評

地元木材を使った伝統的な大工技術と土や漆喰を多用する左官技術がうまく調和した作品。近年流行りの無垢板が多用された住宅においては、とかく、壁の印象が薄くなりがちな傾向にあるが、丁寧に仕上げられた漆喰の壁は住宅の大部分を占める木の存在感到に圧倒されることなく、ともに温かみのある静かな居住空間を作り上げている。



所在地	東京都世田谷区北烏山 6-4-13
竣工	2009 年 8 月 31 日
設計者	株式会社エー・ディーアンドシー 荒川 浩司
施工者	株式会社エー・ディーアンドシー 荒川 浩司
左 官	株式会社花谷組 花谷 成之

受賞者のコメント／施工者

ハウスメーカーが建てた既存の住宅を改修により、どのように変える事が出来るのか？これがスタート時のテーマでした。住まわれる人は左官屋さんの花谷組、花谷社長。吸収素材の漆喰と漆喰タイル、無垢のフローリングこの3種類で、部屋全体の調湿効果をねらいました。不用なものは排除しシンプルでプレーンな空間と、自然素材の持つ癒される空気を創り出す事に成功したと感じています。(株式会社エー・ディーアンドシー)

選 考 評

左官技能者自らの住宅を漆喰でリフォームしたということもあり、壁面や天井に漆喰を施工するにあたって素材の自由さを忘れない仕上がりが現れている。また、遊び心を忘れないシンボリックな意味の仕上げを壁面に施すことで住まいの魅力がさらに増しているように見受けられる。一般的な戸建住宅であっても、漆喰を使用したリフォームを行うことで好印象を与える、良い見本になると考える。



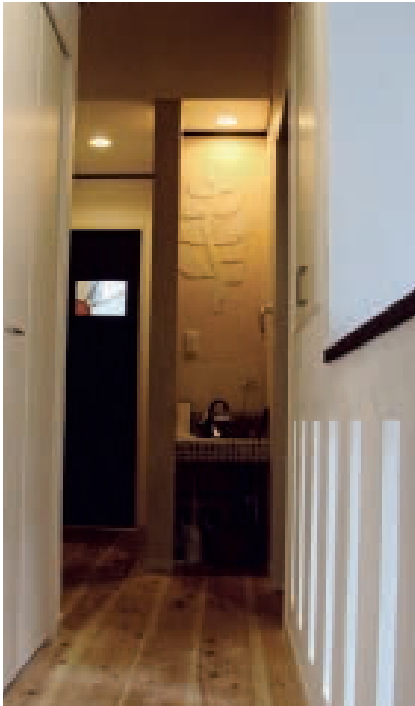
所在地 岡山県都窪郡早島町前潟 596
竣工日 2010 年 3 月 28 日
設計者 古民家再生工房 矢吹昭良建築設計事務所
古民家再生工房 佐藤隆建築研究所
施工者 株式会社奥村組 岡山営業所
中国建設工業株式会社
左 官 有限会社エヌケー工業 中村修一

選考評

近年注目されている古材利用の良い事例。時を経た木材が、時を忘れさせる漆喰で包まれることにより不思議な感覚を与えている。古材が再利用された蔵や母屋が新しく懐かしい姿を現すことで、訪れる者の心に新たな原風景を刻んでくれる。観光センターという役割で、地域に暮らす人々のみでなく、より多くの人の心に残る漆喰として評価したい。

受賞者のコメント / 左 官

受賞の連絡に驚きと感激で一杯です。この建物は、11 月～2 月と土や漆喰を塗るには厳しい時期ではありましたが、何とか、完成しました。このような、伝統工法の建物を施工するチャンスを与えてもらったお施主様、設計者様、建設会社様に感謝いたします。(中村修一)



所在地	兵庫県伊丹市桜ヶ丘 6-1-7
竣工	2010 年 1 月 15 日
施工者	泥水土工房 梶原組
左官	泥水土工房 梶原組

受賞者のコメント／施主

この家が建った事、この内容で建てられた事。全てがあり得ない事であったはずなのに・・・夢が叶ったのです。全ての出会いは、想いからの始まりで、自分の想いに答えてくれる人を！と、ネットで探り、出会えたのが梶原プロです。とにかく癖のありそうな、派手な男性というのが第一印象でした。でもHPを見て、この人だと、決めていたのです。不思議です。住みだしてから、漆喰の壁がこんなに気持ちのいいものなんだ、と目で肌で空気感でしみじみ感じています。(施主)

選考評

施主と造り手側の両者が互いに満足する壁作りが存分に行われている。現地での炊き糊から行われた伝統製法の漆喰と新しい材料とが巧みに使い分けられ、部屋ごとに異なる壁が居住者の視覚や触覚に優しい刺激を与えることで「心が休まる空間」となるよう作り上げられている。まさに「左官の技と心」が行き届いた住まいである。



所在地	福井県越前市姫川 1 - 5 - 35
竣工	2010 年 3 月 25 日
設計者	山内康子設計室
	代表 山内康子
施工者	株式会社関組
	代表取締役 属増勤
左官	宮本左官工業所 宮本英樹
	江州左官土舟 小林隆男

受賞者のコメント／設計者

80 年の歴史ある旧礼拝堂の面影を引き継ぐべく新礼拝堂の主な壁は真白な漆喰壁とし、地元越前の宮本左官工業所さんの高い技術によって塗られました。深い表情をもつ正面の壁は江州左官土舟・小林隆男氏にお任せし、地元の若手左官職人さんの協力も得て念入りに磨かれました。白漆喰と磨き壁の調和した美しい空間は、現場で労された施工者さんと左官の皆様の手仕事による感謝の賜物です。(山内康子)

選考評

舟がイメージされた教会堂の中に入ると木のアーチと漆喰に優しく包み込まれる。高度の技術で仕上げられた漆喰壁は、礼拝の場としての静謐で清澄な空気を乱すことなく、荘厳な雰囲気を醸し出している。地元や隣県の伝統技術をもつ左官の手で上げられる中、後進の育成の場としても使われたという。教会が左官にもたらした教える場としても高く評価したい。



所在地	三重県伊賀市上野丸の内1-56
竣工	2010年4月9日
設計者	CN-JAPAN／株式会社クリエイティブネットワーク 藤村正継
施工者	有限会社あさだ建築 麻田宗良
左官	しゃかん かとう屋 加藤正幸

受賞者のコメント／設計者

「まなび舎“m o n”」は、現代の“まなび舎”として、“次世代の生活を創造する空間”として、未来の環境、健康を学び、伊賀の人々に親しまれる場所として活用されるべく生まれた。建築において、今こそ、建築技術・職人技術を、建築のなかに残すべきではないのか。という思いから、日本建築の特徴である「木と土と紙」で建築することに徹底した。次世代への“伝承”の一部となる事を願っている。（藤村正継）

選考評

現代風のたたずまいでありながら、土佐の伝統技術で仕上げられた「壁」がそこにある。木摺や小舞から塗り重ねられたその厚みは、周囲にその存在感をしっかりと与えている。伝統工法で作られる壁工事が少ないものになってきている昨今、若い左官達の手により新たに作られていることは左官の未来にも喜ばしい事例である。



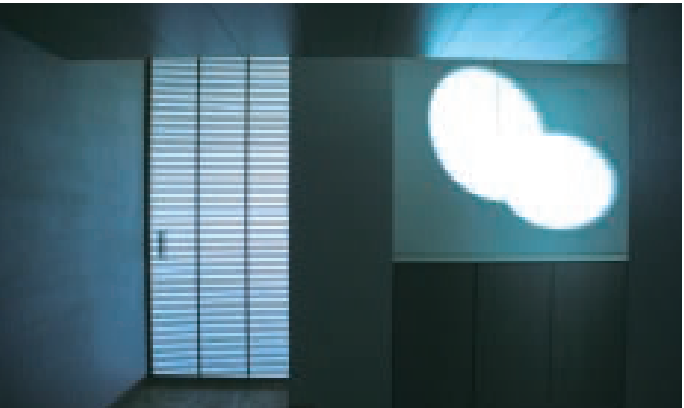
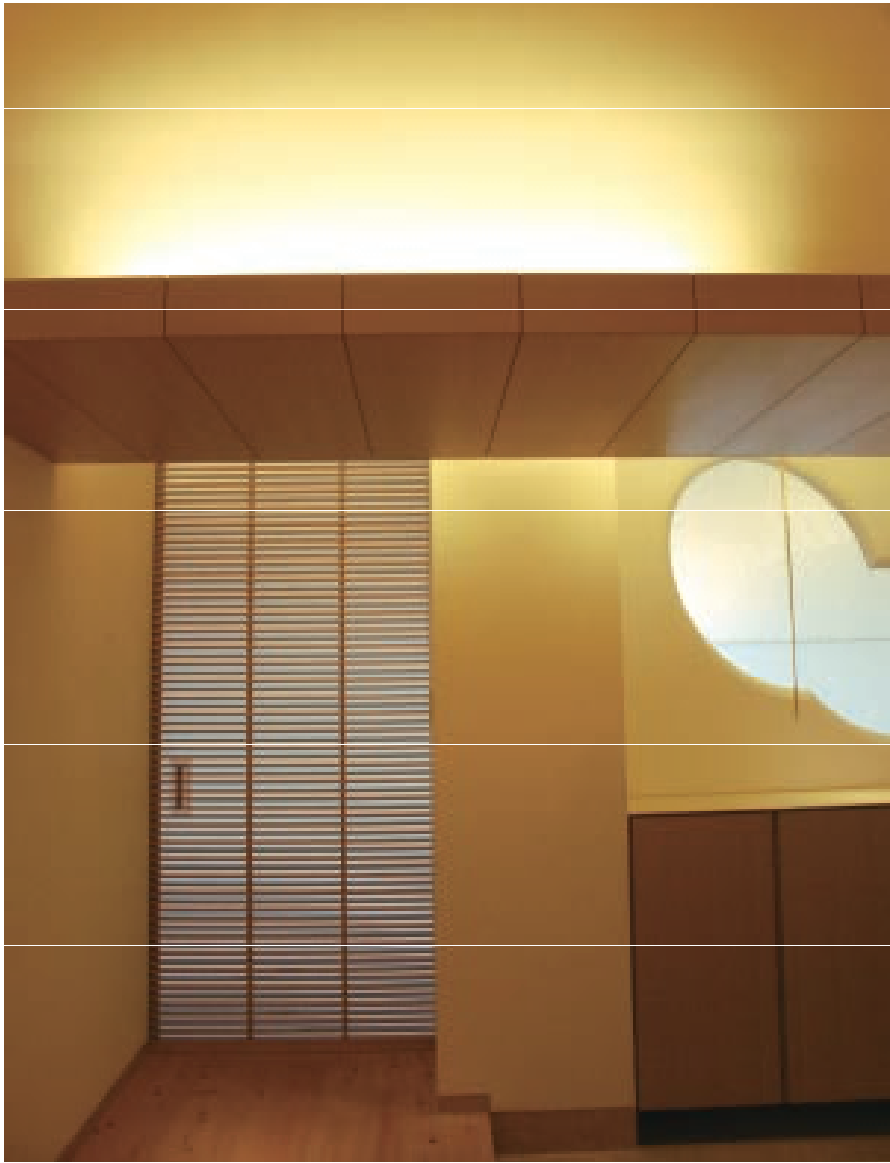
所在地	茨城県守谷市
竣工 設計者	2010年4月6日 株式会社棟匠 代表取締役 石川忠幸
施工者	株式会社棟匠 代表取締役 石川忠幸
左官	有限会社秋葉プラスタル工業 秋葉秀一

受賞者のコメント／施主

我が家は際立った意匠性などありませんが、5年以上の年月をかけて家のあるべき姿（安全、環境、耐久性、風の道、光と影、価格等々）を追求しました。その中の構成要素の1つとして当然のように漆喰がありました。漆喰の家にしたかったのではなく、あるべき姿を考えたらば、そこに当然のように漆喰があった。そのような「住まい」です。漆喰が本当の意味で普及する社会が実現できればと思います。（施主）

選考評

内外壁、天井にくまなく塗られた漆喰は、吹き抜けの大壁をはじめとして左官の高い技術が存分に発揮されている。施主の住まいに対する情熱をもとに作られたという言葉通り、漆喰や木材など、それぞれの素材が生かされた住宅となっている。施主自ら漆喰を施工したという壁面もあり、漆喰に対する愛情が強く伝わる作品である



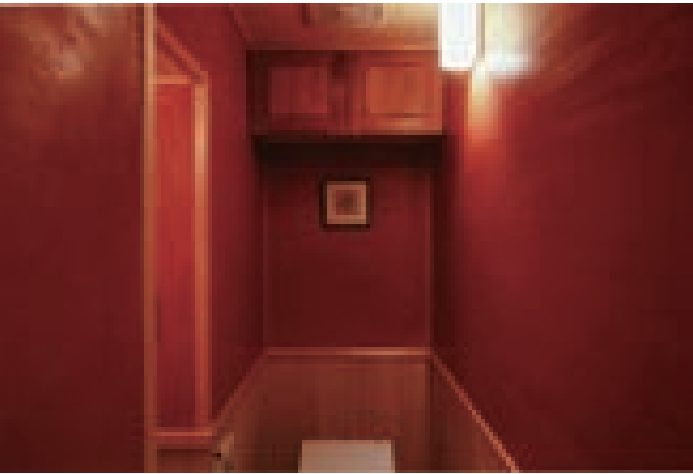
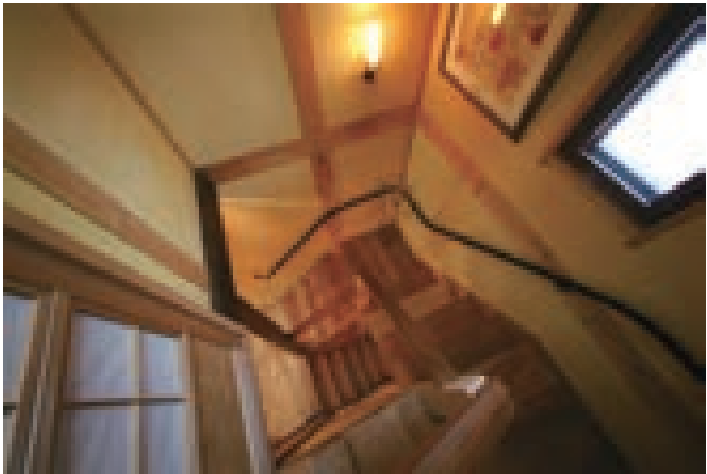
所在地	神奈川県藤沢市藤沢 545 番地 19
竣工	2010 年 4 月 25 日
設計者	株式会社 SABAOARCH 桑原賢典
施工者	馬淵建設株式会社 代表取締役社長 馬淵圭包
左官	株式会社野沢組 野沢雅史

選考評

マンション内装に漆喰が効果的に使用された事例。「人間味のある日本の本物の素材」として施主自らが漆喰を望んだということとは喜ばしい限りである。「心の安らぎ」との設計のコンセプトそのままに、漆喰の風合いが効果的に見えるようデザインされている。細部の納まりや仕上げについても左官の高い技術と設計のこだわりがうかがわれるほか、新たなマンション内装の姿としても好印象を受けた。

受賞者のコメント／設計者

耐震偽装問題による建替マンションということもあり、漆喰というやさしい素材と陰影空間で、建築の素晴らしさや暖かさを伝えたいと強く思った。漆喰によって形作られた滑らかな窓枠が、物質としての境界を融解し、美しく緩やかな階調の光を切り取りつつ映し出す。漆喰に埋め込まれた真鍮の棧はその水分と反応し自然と黒錆を発生させていき、本物の素材と家族の時間を刻んでゆく。（桑原賢典）



所在地	東京都世田谷区
竣工	2009年11月30日
設計者	高橋昌巳／シティ環境建築設計
施工者	高橋昌巳／シティ環境建築設計
左官	加藤左官工業 代表 加藤信吾

受賞者のコメント／設計者

柱と梁を現しにして外壁を漆喰で塗った真壁の家並みは、この国の原風景の一つであるが、左官で塗り込んだ大壁づくりにも先人の工夫は多く残っている。21世紀の現代木造町屋であるこの家の外壁は、燻し銀平瓦と水切り瓦を組み合わせで見切りとし、広い面積を土佐漆喰で仕上げた。漆喰や水切り瓦には地域色があるが、再発見した優れた価値を活かし、これからの可能性を広げていきたい。（高橋昌巳）

選考評

伝統の素材と技法だけで作られた完成度の高い、こだわりの家。現代風でありながら、高度な伝統的左官技術の組み合わせで仕上げられている。竹小舞から土を塗り込め、漆喰で仕上げられた住まいがどれだけ暮らしやすいものになるか、誰もが知っていないながら実現させることが出来ない。あえてそれを行ったことで「伝統」が現代に十分通用する証明と成り得たことを高く評価したい。



所在地 東京都杉並区宮前 5-3-16
竣工 2009 年 3 月 14 日
設計者 渡辺ノリエ
施工者 株式会社スタイル工房
左 官 有限会社ミナミ工業
春口信一

選考評

既存のビニルクロスを除去し、内壁などを漆喰で全面リフォームしたことで、住まいの雰囲気が全く変貌した良い事例である。白い内壁は明るく、柔らかく、広く見えて、改修にも最適である。インテリアのリフォームにあたり、自然な風合いを求めて左官仕上げが行われることはあるが、その中で漆喰が採用材料として選ばれることは未だに少ない。この住宅のように漆喰でのリフォーム事例をより広めるべく、その積極的思考も評価した

受賞者のコメント／施主

築 50 年以上経っていた自宅は、湿気が酷くカビや結露など大変な思いをしていました。リフォームにあたり、室内空間を快適にと思い、壁の仕上げを塗り壁にしたいと考え、珪藻土や漆喰等を検討しました。知り合いの薦めもあり漆喰を選んだのですが、リフォーム後は湿気だけではなく新しく飼い出した室内犬の臭いも気にならず、快適な生活を過ごしています。(施主)



所在地	東京都新宿区歌舞伎町2丁目3番22号
竣工	2007年7月
設計者	大和ハウス工業株式会社
施工者	大和ハウス工業株式会社
左官	西澤工業株式会社 職人社秀平組有限公司 代表 挾土秀平

選考評

左官材料メーカーの本社建物として、内装に多種類の左官材料が塗られる中で、漆喰仕上げがなされている。さすがにこれだけ多種多様な左官材料が使われている建物は他にも見ることは少ない。ショールームである。土を混ぜた現場調合漆喰と既調合漆喰の2種類が使用されており、それぞれに左官技能者が技巧を尽くして仕上げています。

受賞者のコメント／施主

当ビルは、「湿式材料の持つ質感や重厚感を表現した内外装仕上げ」というコンセプトのもとに設計・施工が行われた建物です。いずれも素晴らしい仕上げが施され、永年左官材料を扱ってきたメーカーとして、左官仕上げの魅力を皆様にお伝えしたいというのが叶い、関係者の皆様に感謝しています。漆喰のやわらかい雰囲気の中で、お客様をもてなすことができています。（日本化成株式会社 裏地康宏）



選考評

内外装ともに土佐漆喰のはんだ仕上げである。自ら、土佐漆喰の調合やパターンを考え、工夫を施すという、設計者の漆喰への愛情と熱意が住まいの壁にも表され、採用した漆喰塗り工法で大変魅力的な雰囲気仕上になっている。施工精度も高く、設計と息の合った表現を仕上げた左官技能者の技巧が優れていることも評価して当然であるが、設計者自身が素材と向き合うその姿勢についても高く評価したい。

所在地	大阪府豊中市刀根山
竣工	2010年3月31日
設計者	福田建築工房 福田浩明
施工者	株式会社山本建築 代表取締役 山本薫
左官	有限会社壁谷左官 代表 壁谷敏夫

撮影：後藤徹雄
出典：大阪ガス㈱「住まう」2010年4月1日発行

受賞者のコメント／設計者

住まいはできるだけ環境や人にやさしいものであるべきだと考えています。様々な材料と向き合う中で土佐漆喰と出会い、我事務所では多くの建物に使用しています。スサを多めに入れるだけでなく、砂・寒水・古土・小石・色粉・白漆喰などを混入することにより土佐漆喰の可能性を私なりに広げています。「豊中の家」は、外壁と内壁に土佐漆喰を使用したことで、とても落ち着いた空間となりました。（福田浩明）



選考評

施主の要望により日本の伝統素材にこだわった結果、内部の天井・壁・床のほとんどに乾式の漆喰製品と漆喰塗りが利用されている。白と黒が基調である場合、デザインも単調に成りがちであるが、役物によるアクセントと共に、仕上げの微妙なテクスチュアと採光や照明が効果的に使われており、左官の高い技術がうかがわれるとともに、設計者と左官技能者の絶妙なチームワークのなせる業と評価する。

所在地	福岡県糸島市
竣工	2009年9月1日
設計者	有限会社田中俊彰設計室 田中俊彰
施工者	千早建設株式会社
左官	高山左官店 高山富昭

受賞者のコメント／設計者

在来のディテールに頼ることなく、巾木や廻縁にはアルミやステンレスを用いるなど、現代的な住宅として新たな漆喰空間の表現を試みています。天井、壁、床すべて漆喰に囲まれた空間はシンプルですが、職人の方々の精度の高い施工技術によってその素材の持つ独自のテクスチャーが、日々刻々と変化する周囲の景観とともに生活空間を豊かに演出しています。（田中俊彰）

撮影：©Kouji Okamoto



選 考 評

築150年の古い住宅の構造用木材がそのまま生かされ、さらに長く住まうことが出来るようになった大変良い事例である。古民家リフォームにより古いものが資財として新しく活き返らされている。柱や梁はそのままに、壁などを全面リフォーム。内部の色漆喰のパターン仕上げにより古材が逆に壁のアクセント役となり、古民家であることを意識させない全く異なる空間が演出されている。



所在地	茨城県龍ヶ崎市
竣 工	2008 年 10 月 31 日
設計者	住友不動産株式会社 住宅再生事業本部 今村智志
施工者	株式会社蔵創
左 官	大越左官

受賞者のコメント／設計者

いたんでいた萱葺を下ろし瓦屋根とし、家を移動してベタ基礎を施工し、耐震補強を行いました。間取りは、センターリビングの対面キッチンを中心に、つかいやすい現代的な間取りに大きく変身しました。しかしながら、重厚感あふれる梁、大黒柱、建具をそのまま残し、新旧が融合した「新和風デザイン」となりました。(今村智志)



所在地	神奈川県横浜市神奈川区白楽 38-9
竣工	2010 年 3 月 1 日
設計者	株式会社建築設計 三澤護
施工者	有限会社土濃塚建設 土濃塚松雄
左 官	菊池左官工業 菊池庄二

受賞者のコメント／設計者

横浜のランドマークタワーを望む南斜面の住宅密集地に建っている二世帯住宅です。建て主は自然環境にとっても関心のある方で、敷地は南東から見ると住宅が密集していますが、一歩北西側を見ると手付かずの緑がまだ残っている場所です。今回は厳しい法規制を逃れるため、一部を半地下にしたり、屋根傾斜を工夫したりした三層建てとしました。外壁はメンテナンスを考慮して、ガルバリウム鋼板でくるみ、内部を北西の緑を取り込んで、全て漆喰としました。木の梁と白い漆喰が、緑に映えてとても静かな空間を作り出しています。菊池左官工業さんも、丁寧な仕事をしてもらって、施主共々喜んでいきます。(三澤護)

選考評

名前の通り、白と黒のコントラストが印象的な住宅である。素朴ながらしっかりと塗られた内部の漆喰壁の完成度は高い。規模としては一般的な住宅であるが、自然な住まい方を望まれる施主の要望をかなえるために、採光を考慮しながら、漆喰仕上げが全室に採用された意義は大変大きい。家族と長く過ごしていく漆喰として評価したい。



所在地	東京都荒川区
竣工	2009年5月1日
設計者	Town Factory 一級建築士事務所 酒井哲
施工者	株式会社ハセベ 代表取締役 内田昌孝
左官	有限会社柴又左官工業 森田和徳

受賞者のコメント／設計者

木造3階建ての倉庫併用住宅です。骨董商を営むお施主様からの要望は「てつがくモダン」な家にしたいという面白いテーマでした。サイディング張りの住宅が主流になりつつある下町に、手仕事のテクスチャーを入れ込みたいと思い、外壁の一部に準耐火構造の漆喰の壁をつくりました。漆喰の上質な白とサイディングの黒、新旧の素材が呼応した「粋」なファサードの家ができあがりました。(酒井哲)

撮影：atelier R

選考評

準耐火構造の制限をクリアしながらの木造3階建てであり、内外壁に漆喰を用いる積極的な意図が見受けられ、設計者の「素材」を生かす熱意がよく表れた作品である。古い下町の立地条件下で、新築でありながらそれぞれの素材が生かされ、どこか懐かしく思える様子をとおわせている。室内の仕上げにも趣向が凝らされ、漆喰が住まいの魅力を一層惹き立てる役割を十分に担っている。

p-6-7 史跡松代城跡附 新御殿跡（旧真田邸）	設 計 者／公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2－32－15 施 工 者／北信土建株式会社 代表取締役社長 野澤敏 〒380-0935 長野県長野市中御所 3－7－14 左 官／清水左官・伊藤左官・宮下左官工業 〒381-1231 長野県長野市松代町松代 241－10（清水左官）	TEL：03-6458-3611 FAX：03-6458-3612 TEL：026-226-2808 FAX：026-228-5420 TEL：026-278-2587 FAX：026-278-2587
p-8-9 山本兵一邸	設 計 者／大兵建築設計事務所 山本兵一 〒328-0036 栃木県栃木市室町 4－12 施 工 者／有限会社大兵工務店 代表取締役 山本兵一 左官 新井貞夫 〒328-0036 栃木県栃木市室町 4－12 左 官／有限会社栃木左官店 栃木正和 〒328-0007 栃木県栃木市大塚町 646	TEL：0282-22-2321 FAX：0282-24-3186 TEL：0282-22-2321 FAX：0282-24-3186 TEL：0282-27-4137 FAX：0282-27-8762
p-10-11 検見川の家	設 計 者／株式会社松井郁夫建築設計事務所 松井郁夫 〒165-0023 東京都中野区江原町 1－46－12－203 施 工 者／株式会社持井工務店 持井貞城 〒274-0817 千葉県船橋市高根町 1488 左 官／金子忠雄 〒274-0814 千葉県船橋市新高根 5－23－9	TEL：03-3951-0703 FAX：03-5996-1370 TEL：047-439-1678 FAX：047-439-1679 TEL：047-462-1715 FAX：047-462-1715
p-12-13 Kigumi 土壁 「タテの家」	設 計 者／SSD建築士事務所 瀬古智史 〒514-2308 三重県津市安濃町川西 1281－1 左 官／河合左官 河合英喜 〒510-1233 三重県三重郡菰野町菰野 2948－2	TEL：059-268-1303 FAX：059-268-2007 TEL：059-393-2036 FAX：059-393-2036
p-14-15 Hanaya House	設 計 者／株式会社エー・ディーアンドシー 荒川浩司 〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 9－2－4 施 工 者／株式会社エー・ディーアンドシー 荒川浩司 〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 9－2－4 左 官／株式会社花谷組 花谷成之 〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 6－4－13	TEL：03-5315-3519 FAX：03-5315-8236 TEL：03-5315-3519 FAX：03-5315-8236 TEL：03-3308-5452 FAX：03-3308-6080
p-16-17 早島町観光センター	設 計 者／古民家再生工房 矢吹昭良建築設計事務所 〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島 2298 古民家再生工房 佐藤隆建築研究所 〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島 1457－1 施 工 者／株式会社奥村組 岡山営業所 〒700-0826 岡山県岡山市北区磨屋町 10－20（磨屋町ビル） 中国建設工業株式会社 〒700-0942 岡山県岡山市南区豊成 486 番地 左 官／有限会社エヌケー工業 中村修一 〒703-8228 岡山県岡山市中区乙多見 251－7	TEL：086-482-4031 FAX：086-482-4031 TEL：086-482-0019 FAX：086-482-0019 TEL：086-223-1550 FAX：086-223-0351 TEL：086-263-3241 FAX：086-262-6599 TEL：086-279-2539 FAX：086-278-0719
p-18-19 ゆっくりと 時の流れる空間	施 工 者／泥水土工房 梶原組 〒538-0031 大阪府大阪市鶴見区茨田大宮 2－5－3 左 官／泥水土工房 梶原組 〒538-0031 大阪府大阪市鶴見区茨田大宮 2－5－3	TEL：06-4304-4882 FAX：06-4308-5882 TEL：06-4304-4882 FAX：06-4308-5882

p-20-21 日本基督教団 武生教会礼拝堂	設 計 者／山内康子設計室 代表 山内康子 〒187-0044 東京都小平市喜平町 3－1－6－514 施 工 者／株式会社関組 代表取締役 属増勤 〒915-0242 福井県越前市栗田部町 6－26 左 官／（白漆喰仕上） 宮本左官工業所 宮本英樹 〒915-0082 福井県越前市国高 1－17－6 （磨き壁仕上） 江州左官土丹 小林隆男 〒524-0045 滋賀県守山市金森町 911	TEL：042-325-3540 FAX：042-325-3540 TEL：0778-43-1133 FAX：0778-43-1174 TEL：0778-24-2645 FAX：0778-24-2645 TEL：077-582-3299 FAX：077-582-9133
p-22-23 あさだ建築 「まなび舎 “mon”（もん）」	設 計 者／CN-JAPAN／株式会社クリエイティブネットワーク 藤村正継 〒615-0885 京都府京都市右京区西京極午塚町 77－7 施 工 者／有限会社あさだ建築 麻田宗良 〒518-0115 三重県伊賀市比土 2784 左 官／しゃかん かとう屋 加藤正幸 〒518-0024 三重県伊賀市東高倉 2380－11	TEL：075-313-5484 FAX：075-313-5485 TEL：0595-37-0191 FAX：0595-37-0196 TEL：0595-23-2497 FAX：0595-23-2497
p-24-25 住まい	設 計 者／株式会社棟匠 代表取締役 石川忠幸 〒310-0026 茨城県水戸市泉町 1－4－28 施 工 者／株式会社棟匠 代表取締役 石川忠幸 〒310-0026 茨城県水戸市泉町 1－4－28 左 官／有限会社秋葉プラスタル工業 秋葉秀一 〒278-0017 千葉県野田市大殿井 83－145	TEL：029-227-1040 FAX：029-227-5530 TEL：029-227-1040 FAX：029-227-5530 TEL：04-7124-2594 FAX：04-7124-2591
p-26-27 TR （ティアーアル）	設 計 者／株式会社 SABAOARCH 桑原賢典 〒155-0033 東京都世田谷区代田 6-6-9 アルコープ北沢 1A 施 工 者／馬淵建設株式会社 代表取締役社長 馬淵圭包 〒232-8558 神奈川県横浜市南区花之木町 2－26 左 官／株式会社野沢組 野沢雅史 〒240-0002 神奈川県横浜市保土ヶ谷区宮田町 1－4－17	TEL：03-5334-8087 FAX：03-6804-7617 TEL：045-712-1221（代表） TEL：045-331-3100 FAX：045-336-2110
p-28-29 代沢の家	設 計 者／高橋昌巳／シティ環境建築設計 〒178-0065 東京都練馬区西大泉 2－17－40 施 工 者／高橋昌巳／シティ環境建築設計 〒178-0065 東京都練馬区西大泉 2－17－40 左 官／加藤左官工業 代表 加藤信吾 〒178-0065 東京都練馬区西大泉 4－9－4	TEL：03-3978-0604 FAX：03-3978-0340 TEL：03-3978-0604 FAX：03-3978-0340 TEL：03-5387-0591 FAX：03-5387-0591
p-30-31 やわらかい日差しと 空気の家	設 計 者／渡辺ノリエ 〒166-0016 東京都杉並区成田西 3－2－4 K&3ビル 1F 施 工 者／株式会社スタイル工房 〒166-0016 東京都杉並区成田西 3－2－4 K&3ビル 1F 左 官／有限会社ミナミ工業 春口信一 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園 8－15－15	TEL：03-5305-7250 FAX：03-5305-7253 TEL：03-5305-7250 FAX：03-5305-7253 TEL：03-3978-3678 FAX：03-3978-3617
p-32-33 ハイレックスビル	設 計 者／大和ハウス工業株式会社 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3－13－1 施 工 者／大和ハウス工業株式会社 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3－13－1 左 官／既調合材料施工：西澤工業株式会社 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 445 現場調合材料施工：職人社秀平組有限会社 代表 挾土秀平 〒506-0802 岐阜県高山市松之本町 1108－6	TEL：03-5214-2250 TEL：03-5214-2250 TEL：027-362-6234 FAX：027-362-6462 TEL：0577-37-6226 FAX：0577-37-6227

p-34-35 豊中の家	設 計 者／福田建築工房 福田浩明 〒663-8113 兵庫県西宮市甲子園口4-21-21-406 施 工 者／株式会社山本建築 代表取締役 山本薫 〒636-0131 奈良県生駒郡斑鳩町服部2-7-2 左 官／有限会社壁谷左官 代表 壁谷敏夫 〒636-0151 奈良県生駒郡斑鳩町龍田北1丁目8-9	TEL：0798-67-7201 FAX：0798-67-7211 TEL：0745-74-4737 FAX：0745-74-3400 TEL：0745-75-4102 FAX：0745-75-9595
p-36-37 志摩の家	設 計 者／有限会社田中俊彰設計室 田中俊彰 〒810-0024 福岡県福岡市中央区桜坂1-8-6 施 工 者／千早建設株式会社 〒813-0032 福岡県福岡市東区土井1-5-8 左 官／高山左官店 高山富昭 〒827-0001 福岡県田川郡川崎町大字安真木5272-1	TEL：092-403-3987 FAX：092-761-3987 TEL：092-691-1251 FAX：092-691-4767 TEL：0947-72-5749 FAX：0947-72-5759
p-38-39 N様邸新築 そっくりさん工事	設 計 者／住友不動産株式会社 住宅再生事業本部 今村智志 〒305-0817 茨城県つくば市研究学園D10街区4 施 工 者／株式会社蔵創 〒300-1611 茨城県北相馬郡利根町惣新田1738 左 官／大越左官 〒301-0811 茨城県龍ヶ崎市宮淵町464-1	TEL：029-849-0601 FAX：029-849-0600 TEL：0297-61-9911 FAX：0297-61-9910 TEL：0297-62-6367 FAX：0297-64-9238
p-40-41 黒い衣を まとった白い空間	設 計 者／株式会社建築設計 三澤護 〒253-0052 神奈川県茅ヶ崎市幸町5-19ハイツ茅ヶ崎2F 施 工 者／有限会社土濃塚建設 土濃塚松雄 〒246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷5-14-1 左 官／菊池左官工業 菊池庄二 〒216-0001 神奈川県川崎市宮前区野川1287-11	TEL：0467-87-8959 FAX：0467-57-7611 TEL：045-303-6770 FAX：045-303-1302 TEL：044-788-0264 FAX：044-755-3008
p-42-43 てつがく邸	設 計 者／TownFactory一級建築士事務所 酒井哲 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-6宝生ビル 施 工 者／株式会社ハセベ 代表取締役 内田昌孝 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-27-5 左 官／有限会社柴又左官工業 森田和徳 〒125-0052 東京都葛飾区柴又5-43-6	TEL：03-3256-3955 FAX：03-3256-3955 TEL：03-3802-8711 FAX：03-3801-0379 TEL：03-3658-3840 FAX：03-3671-7301

※掲載は応募順になっております。

漆 喰 と は

漆喰は、消石灰（水酸化カルシウム）とCO₂との反応で固結するという原理（Ca(OH)₂+CO₂=CaCO₃+H₂O）に基づく壁材であり、消石灰を主原料に、のりや繊維質を添加した壁材のことを「漆喰」といいます。

漆喰の建物は、世界各国に数多く存在します。漆喰の歴史は世界では数千年前より、わが国では1,300年前にさかのぼります。それは、原料である石灰が世界各地で産出可能であり、漆喰そのものが建物を守り彩る素材として、優れているからに他なりません。

石灰は現在輸入ゼロ。全て国内生産で賄える数少ない豊富な天然資源です。古代エジプト文明はピラミッドから始まり、ラスコーを経て、中国は敦煌、そして日本の高松塚古墳や法隆寺へ・・・その国々の代表的建造物の壁を彩るのは漆喰です。

■こんなにある！漆喰を使う理由

1. 漆喰は湿度を調整し、結露から来るカビやダニを防止します。
2. 漆喰は悪臭やホルムアルデヒドなどのVOCを吸着する機能があります。
3. 漆喰は静電気が発生せず、ビニールクロスよりもはるかに汚れにくい仕上げです。
4. 漆喰には有害な物質が含まれておらず、廃棄されても環境に優しい素材です。
5. 漆喰はそのアルカリ性で、抗菌作用が長期間持続します。

■鳥インフルエンザの予防や口蹄疫の防疫・消毒に

漆喰の主原料である消石灰は、鳥インフルエンザや口蹄疫の防疫・消毒に撒かれております。

鳥インフルエンザに対する有効性がパスツール研究所（フランス リール市）への委託研究で実証されました。

「第 5 回 日本漆喰協会作品賞」作品集

編集	第 5 回 日本漆喰協会作品賞実行委員会
デザイン	株式会社コーパス
印刷	昭栄印刷株式会社
発行者	日本漆喰協会
発行	平成 22 年 9 月

日本漆喰協会
105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-21 日本石灰協会内
TEL 03-3504-1601 FAX 03-3593-1604
URL <http://www.shikkui.gr.jp/>

※無断に転載、複写を禁じます。 非売品

JSA
japan shikkui association

